

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2012. 11
No.231

第48回 イナテック労働組合 定期大会開催

去る10月20日にイナテック労働組合の定期大会が盛会の元終了され、誠にありがとうございました。

また「全トヨタ労連」からは、中島裕子様（トヨタ自動車出身）がご出席され、これからトヨタを中心とする関連企業と共に生き残って行きますようにご挨拶をいただきました。

イナテック代表としての私の挨拶の主旨は
・ 『平等で公平なわかりやすい』人事システムを目指す

・ グローバル（東南アジア）の中で生き残る
「平等」ということは、チャンス（機会）は皆全

員に与えられるということです。

また「公平」とは、与えられたチャンスに対して努力した人はそれなりの評価をし、努力しなかった人にはそれなりの評価をするという、誰にでもわかりやすい人事システムを目指して参ります。

人間は努力しても、努力しなくても同じ評価で良い報酬が与えられるなら努力しなくなるものです。イナテック社員の方々がそうならないようにして参ります。

そして皆さんの潜在的に持つてみえる素晴らしい能力を引き出してあげるのが会社としての使命だと思っております。

次に「グローバル競争の中で生き残る」です。もうすでに日本の国内での需要は頭打ちになっております。これからは、海外での販売が50%を超える時代になりました。

イナテックとしても浙江省平湖市に『稲垣汽車配件（平湖）有限公司』を立ち上げました。それは「イナテック本社・本社工場」が『ガラパゴス化』してはならないということです。

- ・ スピードが遅い
- ・ 設備が肥大化している
- ・ 設備費用が高い

・ 危機感がない

・ コスト意識が薄い

確かに日本の三河を中心に考えていけば、まだスタンダードに近いのかもしれませんが、世の中はすでに舵がきられたと思っております。

日本の良さと、中国のいい所をお互いに吸収し『グローバルイナテック』を早急に構築することだと思っております。

日本のいい所は

- ・ J A P A N クオリティ（品質の高さ）
- ・ J A P A N テイスト（T P M 手法による緻密さ）

中国のいい所は

- ・ 行動が速い
- ・ 決断が速い
- ・ 設備費が安い
- ・ 人件費が安い
- ・ 技術レベルが上がってきた

このようないい所取りをして、イナテックグループをグローバルに対応できる強力な組織にする事です。

最近多い交通事故

ここ最近、立て続けに通勤途中・勤務中の交通事故が起きております。人身事故でないのが幸いではありません。

皆様へもう少し事故を予防する運転に心がけて欲しいというお願いです。これは「もらい事故」も同様です。

「イナテックの交通ルール」があります。

- 1 センターラインのある道路を通行する
- 2 車間距離をあける
- 3 黄色信号は速やかに止まる

入社時にはこのようなお願いと説明をさせていただいています。この説明をもう少し、私の経験から詳しく説明をさせて頂きます。

1 「センターラインのある道路を通行」

当たり前の事ですが、広い道路の方が、区分帯がはっきりしているから、避けやすく、側道からの飛出しが少ないからです。(国道一号線では野良犬ですら、左右を確認して渡っています) もちろんお住いの住宅地の中では注意してなるべく早くセンターラインのある道へ出る事です。

2 「車間距離を取る」

「車間距離を取るといっても、抽象的な表現になってしまいます。私は交差点に停止する時には『普通車一台分』を開けて停止しています。

そして走行中も『普通車一台分』の車間距離を空けて運転すると前の車が急停止しても止まれる距離です。

3 「黄色信号は速やかに停止」

交通死亡事故の約50%は交差点での事故です。だから相手が『赤信号』で突入して来ても黄色信号で停止すれば事故の確率はかなり下げられます。

前述させていただいたように、交差点で停止し青信号で発進する時も『普通車一台分』あけてあれば、若干タイミングを遅らせることで赤信号で突入してくる車輛を避けることができます。

これが私の36年間無事故が実現できている『予防・防衛運転』ですので、イナテック社員の皆様も実行して下さい。

皆様の交通安全をお祈り致します。